

令和元年度 第1回富良野市上下水道事業経営審議会次第

と き 令和元年7月31日(水) 午後1:30～

ところ 富良野市役所 第三会議室

1. 開 会

2. 辞令交付

3. 市長あいさつ

4. 委員紹介

5. 役員選出

6. 議事 (会長進行)

【報告事項】

- 1 上下水道事業の概要について
- 2 総合計画における主な事業評価等について
- 3 消費税率改正に伴う料金改定について
- 4 指定給水装置工事事業者更新制度について
- 5 災害対応の取組状況について

【審議事項】

今回の審議会に諮問されている事案はありません

7. その他

8. 閉 会

富良野市上下水道事業経営審議会委員名簿

2019/7/26 18:30印刷

任期：2019.7.20 ～ 2021.7.19

(個人情報が記載されています。取扱いに留意願います。)

(敬称略)

推薦団体名称	審議会委員氏名	団体役職	団体連絡先	備考
1 富良野市連合町内会協議会	原田 武	会長	〒076-0022 春日町12番5号 ふれあいセンター内 TEL22-2001	
2 山部地区総合振興協議会	吉中 文也	会長	〒079-1563 山部東町7番31号 山部支所内 TEL42-2121	
3 東山地域連絡協議会	笠倉 要一	専務理事	〒076-0202 東山あかしゃ 東山支所内 TEL27-2121	
4 富良野商工会議所	年代 哲也	相談所長	〒076-0031 本町2番27号 コンシェルジュ・7F/2F TEL22-3555	
5 山部商工会	糠谷 諭	副会長	〒079-1564 山部中町1番15号 TEL42-2409	
6 富良野消費者協会	早川 英剛	事務局長	〒076-0032 若松町17番1号 女性センター内 TEL39-1166	
7 富良野中央婦人会	渡辺 寛子	副会長	〒076-0056 瑞穂町5番18号 小川宅	新規 連絡先の確認
8 山部商工会女性部	高橋 静	副部長	〒079-1564 山部中町1番15号 TEL42-2409	ふらの衛生社
9 富良野金融協会	佐藤 仁寿	会長	〒076-0025 日の出町4番16号 北洋銀行富良野支店内 TEL23-2171	
10 北海道電力(株)富良野ネットワークセンター	浜崎 誠	所長	〒076-0023 栄町20番1号 TEL23-4131	新規
11 社会福祉法人 富良野市社会福祉協議会	小玉 将臣	会長	〒076-0057 住吉町1番28号 TEL39-2215	
12 富良野地区連合会	青山 貴	事務局長	〒076-0054 春日町12番5号 ふれあいセンター内 TEL22-1283	新規 富良野小学校
13 樹海コンポスト利用組合	天内 繁	会長	〒076-0201 西達布4196番地 TEL090-7651-7741 (天内さん)	

富良野市上下水道事業経営審議会条例

(設置)

第1条 本市の上下水道事業（簡易水道事業を含む。以下同じ。）の健全な運営を図るため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、富良野市上下水道事業経営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。

- (1) 上下水道事業の経営に関すること。
- (2) その他、市長が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、委員13人以内で組織する。

- 2 委員は、識見を有する者及び受益者のうちから市長が委嘱する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員の再任は、これを妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、建設水道部上下水道課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年7月20日から施行する。

(準備行為)

- 2 第3条第2項に規定する委員の委嘱に関して必要な行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

(富良野市下水道事業運営審議会条例及び富良野市水道事業経営審議会条例の廃止)

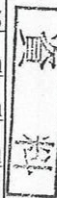
- 3 次に掲げる条例は、廃止する。

(1) 富良野市下水道事業運営審議会条例（平成12年条例第44号）

(2) 富良野市水道事業経営審議会条例（平成12年条例第45号）

平成30年度水道施設管理年報

施設名	上水道	簡易水道	富丘地区	東山市街地区	島の下地区	山部市街地区	学田地区	布部市街地区
	(第4次拡張)	(合計)	簡易水道	簡易水道	簡易水道	簡易水道	簡易水道	簡易水道
事業認可年月日	昭和37年12月28日		昭和35年6月23日	昭和55年7月2日	昭和57年5月20日	昭和58年4月25日	昭和61年4月1日	平成1年4月18日
給水開始年月日	昭和39年11月1日		昭和35年8月1日	昭和56年1月1日	昭和58年1月1日	昭和58年12月1日	昭和62年1月1日	平成2年1月1日
行政区域内人口(A)	21,535人	21,535人	21,535人	21,535人	21,535人	21,535人	21,535人	21,535人
給水区域内人口(B)	16,955人	1,927人	96人	129人	56人	1,258人	150人	238人
計画給水人口(C)	19,000人	3,860人	600人	310人	160人	2,050人	290人	450人
現在給水人口(D)	15,638人	1,500人	96人	75人	44人	1,007人	124人	154人
現在給水戸数(E)	7,782戸	721戸	25戸	58戸	28戸	481戸	54戸	75戸
普及率(D/B)	92.23%	77.84%	100.00%	58.14%	78.57%	80.05%	82.67%	64.71%
達成率(D/C)	82.31%	38.86%	16.00%	24.19%	27.50%	49.12%	42.76%	34.22%
計画給水面積(ha)	22.02km ²	1,166ha	440ha	83ha	110ha	120ha	390ha	23ha
計画1日平均給水量	6,800m ³	923m ³	60m ³	80m ³	130m ³	482m ³	63m ³	108m ³
1人1日平均給水量	358ℓ	239ℓ	100ℓ	258ℓ	813ℓ	235ℓ	217ℓ	240ℓ
計画1日最大給水量	9,000m ³	1,351m ³	90m ³	125m ³	252m ³	665m ³	84m ³	135m ³
1人1日最大給水量	474ℓ	350ℓ	150ℓ	403ℓ	1,575ℓ	324ℓ	290ℓ	300ℓ
年間実績取水量	2,080,383m ³	243,325m ³	11,820m ³	19,067m ³	61,737m ³	110,199m ³	21,540m ³	18,962m ³
年間実績給水量	2,004,879m ³	177,791m ³	7,723m ³	11,221m ³	32,873m ³	96,696m ³	17,197m ³	12,081m ³
1日平均給水量	5,493m ³	487m ³	21m ³	30m ³	90m ³	264m ³	47m ³	33m ³
1人1日平均給水量	351ℓ	325ℓ	220ℓ	410ℓ	2,047ℓ	263ℓ	380ℓ	215ℓ
1日最大給水量	6,788m ³	740m ³	37m ³	111m ³	172m ³	449m ³	120m ³	59m ³
1人1日最大給水量	434ℓ	493ℓ	385ℓ	1,480ℓ	3,909ℓ	446ℓ	968ℓ	383ℓ
有収水量	1,561,088m ³	159,490m ³	7,712m ³	9,302m ³	27,058m ³	89,920m ³	14,797m ³	10,701m ³
有収率	77.86%	89.71%	99.86%	82.90%	82.31%	92.99%	86.04%	88.58%
導水管延長	247m	3,307m		1,010m	1,539m	689m	59m	10m
送水管延長	4,748m	1,512m					700m	812m
配水管延長	146,613m	50,840m	12,223m	5,029m	3,707m	12,306m	13,483m	4,092m
管延長計	151,608m	55,459m	12,223m	6,039m	5,246m	12,995m	14,042m	4,914m



平成30年度下水道事業の概要と現況

平成31年3月31日(作成日 令和元年6月6日)

	公共下水道(富良野処理区)			特定環境保全公共下水道(山部処理区)			全体	
	全体計画	事業認可	現況 (H30年度末)	全体計画	事業認可	現況 (H30年度末)		
事業期間	S54~H32	S54~H32	—	H10~H32	H10~H32	—		
区域面積	700ha	527.9ha	485.5ha	67.1ha		66.3ha	551.8ha	
計画人口	17,400人	17,100人	16,458人	1,200人	1,200人	1,198人	17,656人	
排除方式	分流式			分流式				
処理方式	OD法 5池	OD法 5池	OD法 5池	OD法 1池				
計画汚水量	7,496㎥/日	7,376㎥/日	—	390㎥/日	390㎥/日	—		
処理能力	7,750㎥/日	7,750㎥/日	7,750㎥/日	920㎥/日				
汚泥処理	濃縮・脱水			濃縮・オゾン処理				
汚泥処分	農地還元(コンポスト)			30%:農地還元(コンポスト)・70%:消滅化				
汚泥量	1.2t/日 7.8㎥3/日	1.2t/日 (7.7㎥/日)	1,846.0t/年 20,807.0㎥3/年	0.017t/日 (1.1㎥/日)	0.017t/日 (1.1㎥/日)	—		
污水管延長	143,780m	102,810m	95,057m	13,855m		12,075m		107,132m
雨水管延長	113,100m	88,100m	—	—		—		
污水管事業費	9,587百万円	9,008百万円	8,841百万円	1,211百万円		1,119百万円		
雨水管事業費	1,920百万円	629百万円	—	—		—		
処理場事業費	5,305百万円	5,234百万円	4,621百万円	1,617百万円		1,563百万円		
総事業費	16,812百万円	14,871百万円	13,462百万円	2,828百万円		2,682百万円		
供用開始	H2.7.1			H14.10.1				
行政人口	21,323+212(外国人)=21,535						21,535人	
市街地人口	DID地区(平成27年国勢調査)		14,269人	—		—	14,269人	
市街地面積	DID地区(平成27年国勢調査)		374ha	—		—	374ha	
全体計画区域人口	(内外国人126人)		16,458人	(内外国人10人)		1,198人	17,656人	
処理区域人口	(内外国人119人)		16,017人	(内外国人10人)		1,170人	17,187人	
下水道普及率	処理区域人口/行政人口		74.38%	処理区域人口/行政人口		5.43%	79.81%	
下水道達成率	処理区域人口/全体計画区域人口		97.32%	処理区域人口/全体計画区域人口		97.66%	97.34%	
水洗化人口			15,502人			977人	16,479人	
水洗化率	水洗化人口/処理区域人口		96.78%	水洗化人口/処理区域人口		83.50%	95.88%	
年間放水量	(5,343㎥/日平均) 1,950,281㎥/年			(279㎥/日平均) 101,909㎥/年			(5,622㎥/日平均) 2,052,190㎥/年	
有収水量	1,507,457㎥/年			83,266㎥/年			1,590,723㎥/年	
有収率	年間有収量/年間放水量		77.29%	年間有収量/年間放水量		81.70%	77.51%	
処理場名	富良野水処理センター			山部水処理センター				

(富良野市建設水道部上下水道課下水道施設係)

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調書
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調書》

基本事項

事業名	下水道事業会計法適用化事業							担当課	上下水道課	
予算科目	特別	会計	1 款		1 項		1 目	100 細目	個別計画	
事業方向性	継続	○	新規		拡充		縮小		廃止	なし
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり								
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり								
	推進施策	5 上下水道の整備推進								
総合戦略	基本戦略									
	個別戦略									

【Plan】 計画

事業目的	下水道事業会計を地方公営企業法適用し企業会計化することで、将来的な経営状況の把握と情報公開に努める。									
事業内容	○総務省通知で、3万人未満も法適用が義務付けされた。令和5年度まで(令和6年度スタート) ○固定資産整理・データ化、減価償却費算定等、資産管理の徹底を図る。 ○企業会計化により、財務諸表による経営分析が可能となり、資産(内部留保資金)を含めた中長期的な収支計画を作成することで経営を「見える化」し、適正な料金体系の把握と説明責任を果たすことが可能となる。									
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	合 計				
事業費(インプット)	0 千円	0 千円	0 千円	8,700 千円	11,300 千円	20,000	千円			
財源内訳	特定財源	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	0	千円	
	特定財源	道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	0	千円	
	特定財源	地方債	千円	千円	千円	8,700	千円	11,300	千円	20,000 千円
	特定財源	その他	千円	千円	千円	0	千円	千円	0	千円
	一般財源	千円	千円	千円	0	千円	0	千円	0	千円

【Do】 実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容				・法適用化業務委託 固定資産調査 資料収集ヒアリング 決算書整理 データ作成	・法適用化業務委託 固定資産調査 資産管理図 システム業者連携 サンプルデータ作成	

【Check】 評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)

【Action】 改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆企業会計精通者の確保 (人材育成・企業会計の継承) ◆導入時の組織機構体制 ◆平成31年度～3カ年の債務負担 R3:5,500千円	◆人材育成研修の検討(企業会計に特化した研修) ◆企業会計が継承できる人事管理 ◆将来的に一般会計も複式簿記化が求められることが予測されている中で、ワイン事業も含めた組織体制について検討が必須

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調書
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調書》

基本事項

事業名	公共下水道事業計画変更業務委託								担当課	上下水道課	
予算科目	特別	会計	1		1		1		100	細目	個別計画
事業方向性	継続		新規	○	拡充			縮小		廃止	なし
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり									
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり									
	推進施策	5 上下水道の整備推進									
総合戦略	基本戦略										
	個別戦略										

【Plan】 計画

事業目的	公共下水道事業計画の見直しを行い、安全安心で持続可能な下水道事業の実施に努める。									
事業内容	○現計画が令和2年度までであり、継続した下水道全体の事業計画について北海道と協議を行う。 ○設備等の更新は、ストックマネジメント計画を基本とし実施する。 ○雨水幹線(無頭川)についても、前回計画を継承したものとする。									
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	合 計				
事業費(インプット)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	7,600 千円	7,600	千円	7,600	千円	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	3,800	千円	3,800 千円
		道支出金	千円	千円	千円	千円	千円		千円	0 千円
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円		千円	0 千円
		その他	千円	千円	千円	0 千円	千円	3,800	千円	3,800 千円
	一般財源	千円	千円	千円	0 千円	0	千円	0	千円	0 千円

【Do】 実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容					・公共下水道事業計画 変更業務委託 下水道法事業認可 都市計画法事業認可 計画図電子化(山部)	

【Check】 評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)

【Action】 改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆下水道法改正(内水氾濫対策等)対応済みであるが、追加すべき項目チェック等、専門的な視点からの計画策定が要求されるため、委託事業をモニタリングできる職員の育成が必要不可欠である。 ◆技術力向上(研修等への参加)・人材確保	◆日常業務のチェック機能を強化し広い知識を習得させ、技術力の底上げを図る。 ◆下水道事業の継続性と将来性を考え、実態に即した事業計画の策定に努める

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調書
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調書》

基本事項

事業名	管渠管理費							担当課	上下水道課	
予算科目	特別	会計	1	款	1	項	3	目	100 110	細目 個別計画
事業方向性	継続	○	新規		拡充		縮小		廃止	なし
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり								
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり								
	推進施策	5 上下水道の整備推進								
総合戦略	基本戦略									
	個別戦略									

【Plan】計画

事業目的			下水道污水管の適正な維持管理及び雨水幹線の適正な管理を実施し、安全で安定的な水処理を目的とする。											
事業内容			污水管の詰まり、マンホール、汚水樹等の早期修繕やマンホールポンプの点検整備、雨水幹線管理委託を実施する。											
年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度		合 計	
事業費(インプット)			27,957	千円	26,662	千円	33,932	千円	35,048	千円	32,729	千円	156,328	千円
財源内訳	特定財源	国庫支出金		千円		千円		千円		千円		千円	0	千円
		道支出金		千円		千円		千円		千円		千円	0	千円
		地方債		千円		千円		千円		千円		千円	0	千円
		その他	6,879	千円	12,276	千円	17,786	千円	7,158	千円	4,699	千円	48,798	千円
	一般財源	21,078	千円	14,386	千円	16,146	千円	27,890	千円	28,030	千円	107,530	千円	

【Do】実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容	下水道管路施設修繕(富良野・山部)、雨水幹線管理委託 有毒ガス濃度計購入 等	下水道管路施設修繕(富良野・山部)、雨水幹線管理委託 非常用発電機・排水ポンプ購入 等	下水道管路施設修繕(富良野・山部)、雨水幹線管理委託 非常用発電機・排水ポンプ購入 等	下水道管路施設修繕(富良野・山部)、雨水幹線管理委託 等	下水道管路施設修繕(富良野・山部)、雨水幹線管理委託 等	

【Check】評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)
◆污水管延長(富良野・山部) 106,956M の維持管理 ◆汚水樹、マンホールの切り下げ等実施 ◆雨水幹線清掃管理 ◆非常用発電機(25KVA) 8インチポンプ(3台) 購入	◆道路改良等によるマンホール等の段差解消 ◆雨水幹線環境の保全 ◆内水氾濫防止用 発電機・排水ポンプ整備

【Action】改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆老朽化したマンホール等の更新と地下水流入の改善 ◆中部第4排水区(無頭川)雨水対策のため、雨水幹線(無頭川)の大規模改修を実施するにあたり、財源含め課題となっている。(事業実施の際は管渠事業費となる)	◆マンホール及び污水状況を目視点検し、管閉塞等の防止に努めていく。 ◆マンホール等の段差解消や路面状況の巡視を道路担当、水道担当と情報交換し修繕に努めていく。

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調書
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調書》

基本事項

事業名	下水道整備費(管渠事業費)								担当課	上下水道課	
予算科目	特別	会計	1		2		1		100	細目	個別計画
事業方向性	継続	○	新規		拡充		縮小		廃止		なし
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり									
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり									
	推進施策	5 上下水道の整備推進									
総合戦略	基本戦略										
	個別戦略										

【Plan】計画

事業目的			下水道の管渠整備、雨水幹線の整備を実施し、持続的な汚水等の処理や公共水域の環境保全、内水氾濫の防止を目的とする。											
事業内容			管渠修繕や雨水幹線転落防止フェンスの設置、公共下水道基本計画の見直しによる浸水対策等を実施する。											
年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度		合 計	
事業費(インプット)			36,574 千円		2,238 千円		2,446 千円		7,370 千円		2,400 千円		51,028 千円	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	8,100 千円		千円		千円		0 千円		千円		8,100 千円	
		道支出金	千円		千円		千円		千円		千円		0 千円	
		地方債	千円		千円		千円		0 千円		千円		0 千円	
		その他	5,395 千円		千円		千円		7,001 千円		0 千円		12,396 千円	
		一般財源	23,079 千円		2,238 千円		2,446 千円		369 千円		2,400 千円		30,532 千円	

【Do】実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容	・管路情報整備システム構築 ・公共下水道基本計画策定委託 ・雨水幹線環境整備工事	・下水道管路カメラ点検委託	・下水道管路カメラ点検委託	・雨水幹線用地確定測量委託 ・雨水幹線管理用地買収費 ・下水道管路カメラ点検委託	・下水道管路カメラ点検委託	

【Check】評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)
◆下水道基幹管路の老朽度等カメラ調査を実施	◆カメラ調査により修繕の必要性や清掃の優先順位を判断

【Action】改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆雨水幹線の改修(浸水対策等)は、専門性が求められることから、人材育成を優先する必要がある。 ◆不明水対策として、カメラ調査による修繕計画の検討が課題	◆雨水幹線の浸水対策は、雨水幹線の管理体制を強化し防災対策に結び付ける。

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調査
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調査》

基本事項

事業名		下水道整備費(処理場事業費)							担当課	上下水道課	
予算科目	特別	会計	1		2		2		100	細目	個別計画
事業方向性	継続	○	新規		拡充		縮小		廃止		あり
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり									
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり									
	推進施策	5 上下水道の整備推進									
総合戦略	基本戦略										
	個別戦略										

【Plan】計画

事業目的		安定的な汚水処理を実施するため、富良野水処理場の長寿命化を行い、快適な生活環境と公共水域の環境保全を目的とする。												
事業内容		富良野水処理場の長寿命化計画に基づき、老朽化した電気・機械等の更新及び施設の耐震化を実施する。 ・平成26年度 長寿命化計画策定（27年～31年の5ヶ年） ・平成27年度 実施設計 ・平成28年度～平成31年度まで 更新工事実施												
年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度		合 計		
事業費(インプット)		167,921	千円	160,913	千円	99,167	千円	253,555	千円	100,000	千円	781,556	千円	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	91,190	千円	86,611	千円	52,270	千円	136,400	千円	50,000	千円	416,471	千円
		道支出金		千円		千円		千円		千円		0	千円	
		地方債	71,000	千円	71,300	千円	31,500	千円	111,600	千円	45,000	千円	330,400	千円
		その他	542	千円	566	千円	577	千円	4,669	千円	500	千円	6,854	千円
	一般財源	5,189	千円	2,436	千円	14,820	千円	886	千円	4,500	千円	27,831	千円	

【Do】実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容	・機械設備更新 ・電気設備更新	・機械設備更新 横軸ローター ・電気設備更新 水位計、DO計 ・主ポンプ実施設計	・ストックマネジメント基本 計画策定委託 ・電気設備更新 VVVF盤更新 3系	・機械設備更新 主ポンプ・脱水機更新 ・脱水機更新 ・電気設備更新 VVVF盤4～5系	・ストックマネジメント事業実施 ・機械設備更新 ・電気設備更新 ・耐震化工事 等	

【Check】評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)
◆処理場長寿命化計画策定(H26年度) ◆長寿命化対象機器実施設計(H27年度) ◆機械設備・電気設備更新工事(H28年度) ◆機械設備・電気設備更新工事(H29年度) ◆機械設備・電気設備更新工事(H30年度)	◆長寿命化計画により老朽化した設備更新の平準化を図り安定した汚水処理の継続を図る ※これまでの「長寿命化計画」は「処理場」のみが対象であったが、今後は下水道施設全体(管路含む)の更新計画「ストックマネジメント基本計画」により更新事業を実施していく。

【Action】改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆社会資本整備総合交付金の削減による計画期間の延長 ◆国庫補助率の削減が懸念されている ◆長寿命化計画からストックマネジメント計画へシフトする	◆ストックマネジメント基本計画に基づき、長寿命化計画時代に未実施となった部分を優先的に実施していく。

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調書
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調書》

基本事項

事業名	簡易水道事業費							担当課	上下水道課		
予算科目	特別	会計	1		2		1		100	細目	個別計画
事業方向性	継続	○	新規		拡充		縮小		廃止		なし
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり									
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり									
	推進施策	5 上下水道の整備推進									
総合戦略	基本戦略										
	個別戦略										

【Plan】計画

事業目的			簡易水道の計量法に基づく量水器取替、各施設の動力計装機器等の計画的な更新の実施により、安定的な飲料水の供給を目的とする。											
事業内容			量水器(有効期限8年)の取替、浄水場動力計装機器の計画的な更新及び中央監視システム更新を実施する。											
年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度		合 計	
事業費(インプット)			9,348	千円	13,592	千円	14,580	千円	214,111	千円	135,848	千円	387,479	千円
財源内訳	特定財源	国庫支出金		千円		千円		千円		千円		千円	0	千円
		道支出金		千円		千円		千円		千円		千円	0	千円
		地方債		千円	7,500	千円		千円	203,600	千円	132,200	千円	343,300	千円
		その他	7,989	千円	2,667	千円	5,865	千円	10,464	千円	121	千円	27,106	千円
		一般財源	1,359	千円	3,425	千円	8,715	千円	47	千円	3,527	千円	17,073	千円

【Do】実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容	・動力計装機器更新事業者選定支援委託 ・量水器取替 84個	・動力計装機器更新事業者選定支援委託 ・動力計装機器更新実施設計委託 ・量水器取替 62個	・動力計装機器更新(東山、島ノ下UPS) ・量水器取替 219個	・動力計装機器更新(中央監視システム 東山、島ノ下テレメータ) ・量水器取替 140個	・動力計装機器更新(山部計装機器) ・量水器取替 66個	

【Check】評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)
◆各施設の計装機器更新に係る実施設計 UPS(無停電装置)の更新 ◆計量法に基づく量水器取替(8年更新)	◆各施設による安定的な飲料水供給のため、水質監視を実施 UPS(無停電装置)更新により、正常稼働時間を確保 ◆量水器更新により、法に基づく適正な検針の実施

【Action】改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆動力計装機器更新事業(H29～R3)で実施する更新工事終了後、未着手施設の更新について検討する必要がある。	◆地域内人口の減少状況を注視し、施設更新時における規模の検証し、適正化を図る。また、各施設の計装機器を統一化させることで、経費節減に努める。 ◆企業会計化により、固定資産等の状況を把握し、より精度の高い中長期的な収支計画を作成する。

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調書
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調書》

基本事項

事業名	上水道原水費							担当課	上下水道課	
予算科目	企業	会計	1	款	1	項	1	目	細目	個別計画
事業方向性	継続	○	新規		拡充		縮小		廃止	
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり								
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり								
	推進施策	5 上下水道の整備推進								
総合戦略	基本戦略									
	個別戦略									

【Plan】計画

事業目的	水道事業の基幹水道施設(水源送水場・送水管)の計画的な点検整備を実施し、安定的な飲料水の供給を目的とする。									
事業内容	水道施設の機能水準の維持確保のために点検、整備を行う。									
年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度	合 計
事業費(インプット)	7,144	千円	2,326	千円	5,639	千円	5,670	千円	5,740	千円
財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円		千円	0
	道支出金		千円		千円		千円		千円	0
	地方債		千円		千円		千円		千円	0
	その他		千円		千円		千円		千円	0
	一般財源	7,144	千円	2,326	千円	5,639	千円	5,670	千円	26,519

【Do】実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容	【修繕】 ・送配水機器計器 ・工業計器部品 ・発電機 * 修繕費のみ(税込)	【修繕】 ・工業計器部品 ・その他機器類 * 修繕のみ(税込)	【修繕】 ・送配水機器計器 ・工業計器部品 ・非常用発電機 ・その他機器類 * 修繕のみ(税込)	【修繕】 ・送配水機器計器 ・工業計器部品 ・その他機器類 * 修繕のみ(税込)	【修繕】 ・送配水機器計器 ・工業計器部品 ・その他機器類 * 修繕のみ(税込)	

【Check】評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)
【修繕】 ◆平成30年度 中五区 送水流量計、深井戸水位計、送水ポンプ 等 ◆平成29年度 下五区フート弁、濁度計 等 ◆平成28年度 送水ポンプ、工業計器部品 等 ◆平成27年度 非常用発電機、工業計器部品 等 ◆平成26年度 次亜ポンプ、工業計器部品 等	◆老朽化している工業計器等の部品取替を実施することで、機器類の性能保持を図った。

【Action】改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆原水費における修繕は、中五区と下五区の水源送水場、高区、中区、低区の配水池が対象となるが、いずれの施設・設備も老朽化しており、状態監視保全、時間計画保全、事後保全の優劣化を判断し、計画的に実施する必要がある。	◆現在、水道施設と簡易水道施設の動力計装機器更新を設計、施工、一本化して発注するDB方式の採用により、経費節減に努め実施している。今後も最小経費で最大効果が得られるよう、修繕計画の再考察を実施する。

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調書
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調書》

基本事項

事業名	上水道配水及び給水費								担当課	上下水道課	
予算科目	企業	会計	1		1		2		細目		個別計画
事業方向性	継続	○	新規		拡充		縮小		廃止		
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり									
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり									
	推進施策	5 上下水道の整備推進									
総合戦略	基本戦略										
	個別戦略										

【Plan】 計画

事業目的		水道事業の漏水等配水管事故の早期対応、計画的な点検整備を実施し、安定的な飲料水の供給を目的とする。												
事業内容		夜間水量の分析等から、漏水配水管の点検整備を実施する。												
年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和1年度		令和2年度		合 計		
事業費(インプット)		4,627 千円		2,091 千円		4,358 千円		6,000 千円		5,000 千円		22,076 千円		
財源内訳	特定財源	国庫支出金	千円		千円		千円		千円		千円		0 千円	
		道支出金	千円		千円		千円		千円		千円		0 千円	
		地方債	千円		千円		千円		千円		千円		0 千円	
		その他	千円		千円		千円		千円		千円		0 千円	
	一般財源	4,627 千円		2,091 千円		4,358 千円		6,000 千円		5,000 千円		22,076 千円		

【Do】 実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容	・配水管修繕 ・給水管修繕 ・弁篋修繕 ・漏水復旧 等 * 配水給水施設修繕のみ(税込)	・配水管修繕 ・給水管修繕 ・弁篋修繕 ・漏水復旧 等 * 配水給水施設修繕のみ(税込)	・配水管修繕 ・給水管修繕 ・弁篋修繕 ・漏水復旧 等 * 配水給水施設修繕のみ(税込)	・配水管修繕 ・給水管修繕 ・弁篋修繕 ・漏水復旧 等 * 配水給水施設修繕のみ(税込)	・配水管修繕 ・給水管修繕 ・弁篋修繕 ・漏水復旧 等 * 配水給水施設修繕のみ(税込)	

【Check】 評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)
◆配水管・給水管修繕 ◆弁篋修繕 ◆漏水復旧 等	◆配水管・給水管、弁篋の修繕により配水管等の漏水防止を図った。

【Action】 改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆有収率向上対策 漏水原因調査(本管漏水調査等)による漏水修繕の完全実施 ◆管洗浄と赤バルブの交換 配水管内(赤サビ等)を洗浄し衛生面の確保、配水ロスの軽減を図る。 また、赤バルブ(旧タイプ仕切弁)の交換も必要となっている。	◆配水池の系統別で地域ブロック化し、夜間調査により漏水箇所を特定、漏水修繕を実施。この繰り返しで漏水修繕完了させる。 ◆管洗浄及び赤バルブの優先箇所を見える化し、対応していく。

第5次富良野市総合計画後期基本計画 事業確認調書
《兼 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業確認調書》

基本事項

事業名	上水道施設整備費							担当課	上下水道課	
予算科目	企業	会計	1 款		1 項		1 目	細目		個別計画
事業方向性	継続	○	新規		拡充		縮小		廃止	なし
総合計画	基本目標	3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり								
	個別目標	2 自然環境を生かして住みよさを高めるまちづくり								
	推進施策	5 上下水道の整備推進								
総合戦略	基本戦略									
	個別戦略									

【Plan】 計画

事業目的	基幹配水管の更新、道路改良に伴う配水管の移設、ポンプ場等の動力計装機器の更新により、安定的な飲料水の供給を目的とする。						
事業内容	老朽管の計画的な更新、道路改良工事に伴う配水管移設・新設、ポンプ場等の動力計装機器の更新を実施、給水区域内の配水管の延長等を実施する。						
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	合 計	
事業費(インプット)	103,998 千円	105,596 千円	254,550 千円	88,380 千円	66,925 千円	619,449 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	0 千円	
	道支出金	千円	千円	千円	千円	0 千円	
	地方債	82,600 千円	76,100 千円	231,600 千円	54,700 千円	55,400 千円	500,400 千円
	その他	19,440 千円	25,132 千円	14,710 千円	33,600 千円	11,500 千円	104,382 千円
	一般財源	1,958 千円	4,364 千円	8,240 千円	80 千円	25 千円	14,667 千円

【Do】 実施

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	金融機関との連携状況
主な取組内容	・老朽管更新 麻町 ・移設等 西8条2、東6条、東2条1 ・未普及解消 南8丁目1 ・動力計装機器更新事業者選定支援委託	・老朽管更新 麻町 北の峰 ・移設等 西8条2、東6条、東2条1、西2条、春日錦町通 ・動力計装機器更新設計 ・車両購入、備品購入	・老朽管更新 麻町 北の峰 ・移設等 東9条、春日錦町通 ・東雲通 ・動力計装機器更新(中央監視システム) ・倉庫建設、会計システム	・老朽管更新 麻町 ・移設等 東雲通、東9条、南2丁目2 ・動力計装機器更新(下御料ポンプ場)	・移設等 東雲通、東9条、南2丁目2 南6丁目 ・動力計装機器更新	

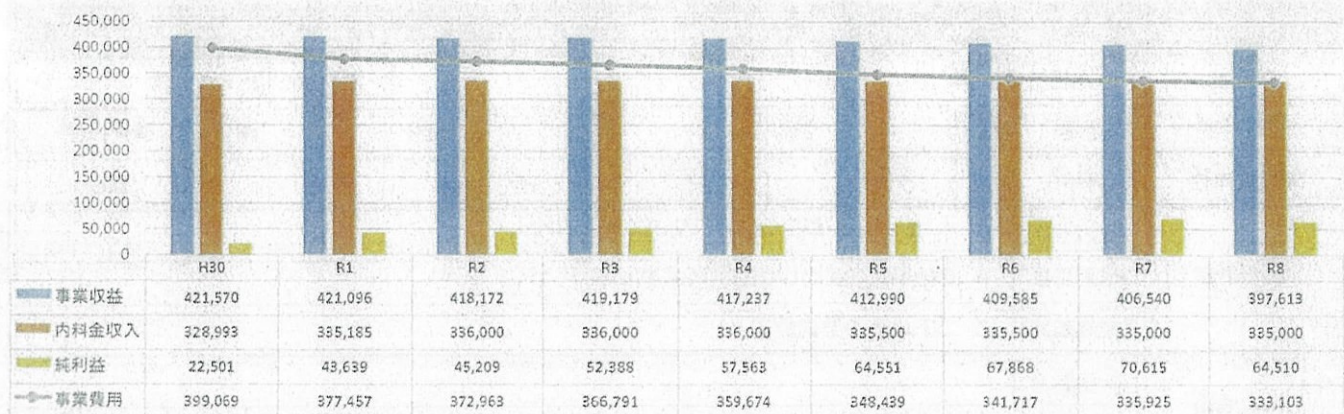
【Check】 評価

活動実績(アウトプット)	活動実績による成果(アウトカム)
◆老朽管更新 麻町地区、北の峰地区(完了) ◆道路改良工事に伴う配水管移設 ◆中五区倉庫建設(下五区解体) ◆会計システム購入 ◆移動式発電機購入	◆老朽管更新による漏水防止、耐震化の向上 ◆道路改良工事に伴う移設による耐震化向上 ◆倉庫建築で資器材一元管理の実現 ◆財務会計システム更新 ◆防災資器材の備蓄

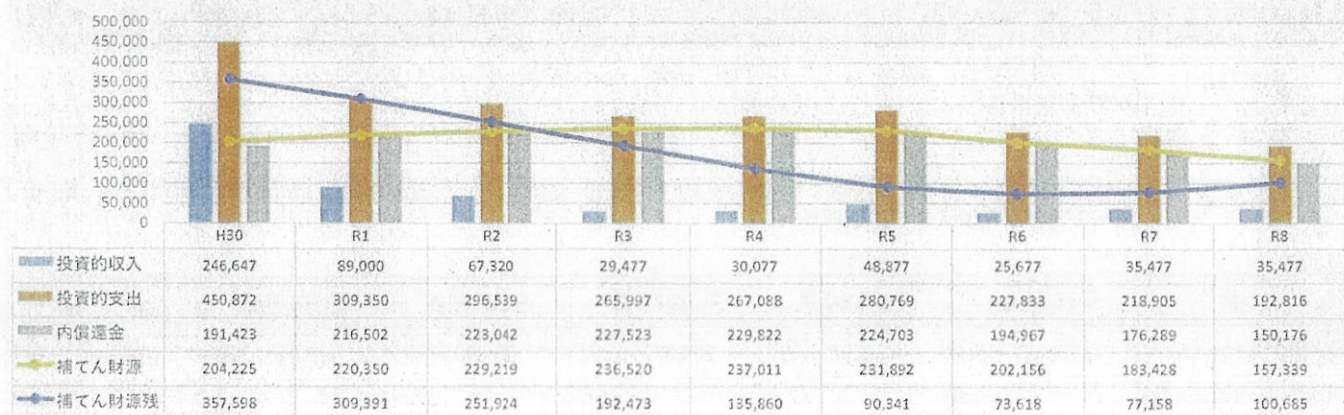
【Action】 改善

次年度以降の課題	見直し内容
◆老朽管更新(S40年代布設)計画と財源確保 ◆交付金削減による道路改良工事の縮小＝水道移設工事減＝公共事業の縮小＝地元業者受注機会減＝域内経済循環の縮小 ◆防災対策(施設の浸水対策)の検討	◆漏水調査による老朽管更新計画を策定し事業規模確定する ◆老朽管更新に係る特定財源の検討(国費メニュー検証) ◆電気室等の防水扉改修の検討

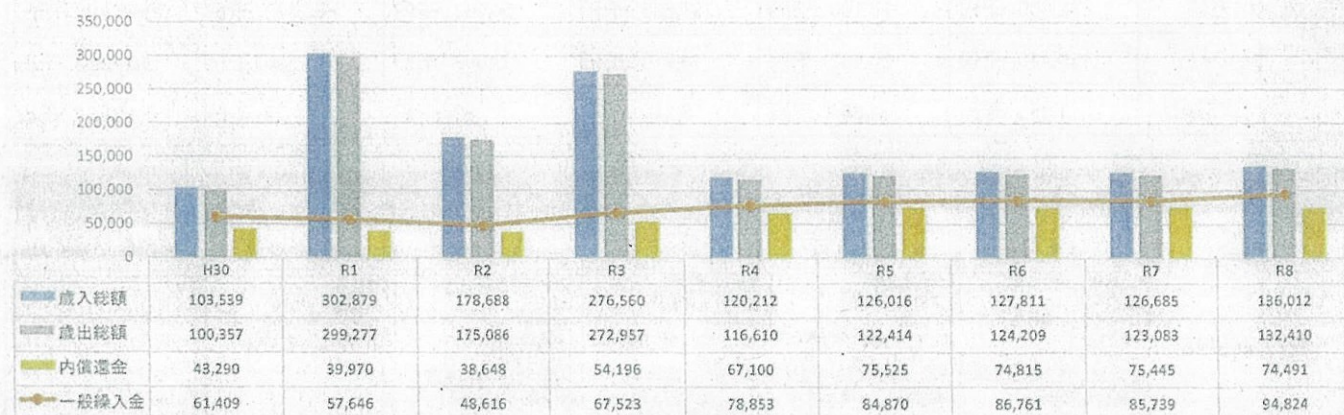
水道事業 經常的收支状況



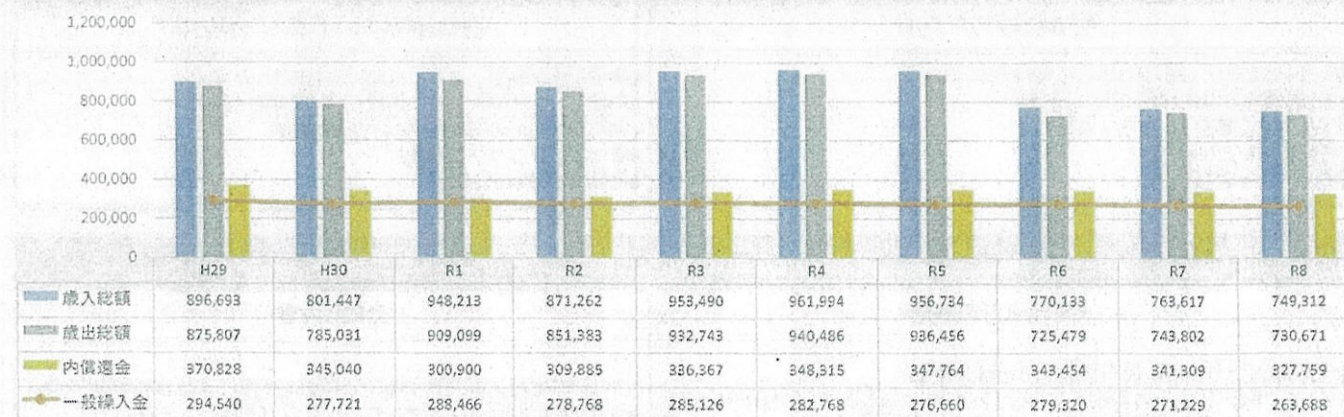
水道事業 投資の收支状況



簡易水道事業 収支状況



下水道事業 収支状況



水道料金・下水道使用料の料金比較

★ 水道料金表

用 途	基本料金(1ヶ月)【税抜き】		消費税8%	消費税10%
一 般 用	8m ³ まで	1,340円	1,447.20円	1,474.00円
福 祉 用	8m ³ まで	737円	795.96円	810.70円
営 業 用	16m ³ まで	3,110円	3,358.80円	3,421.00円
団 体 用	16m ³ まで	3,230円	3,488.40円	3,553.00円
浴 場 用	100m ³ まで	9,660円	10,432.80円	10,626.00円
臨 時 用	1m ³ 当たり	410円	442.80円	451.00円

超 過 料 金【税抜き】		消費税8%	消費税10%
1m ³ につき	200円	216.00円	220.00円
1m ³ につき	160円	172.80円	176.00円
1m ³ につき	240円	259.20円	264.00円
1m ³ につき	240円	259.20円	264.00円
1m ³ につき	110円	118.80円	121.00円

★ 下水道使用料金表

用 途	基本料金(1ヶ月)【税抜き】		消費税8%	消費税10%
一 般 用	8m ³ まで	1,060円	1,144.80円	1,166.00円
福 祉 用	8m ³ まで	583円	629.64円	641.30円
浴 場 用	100m ³ まで	3,300円	3,564.00円	3,630.00円

超 過 料 金【税抜き】		消費税8%	消費税10%
1m ³ につき	180円	194.40円	198.00円
1m ³ につき	144円	155.52円	158.40円
1m ³ につき	50円	54.00円	55.00円

* 水道料金・下水道使用料の計算例 *

○一般家庭で1ヵ月で20m³ お使いになった場合の計算例です。

* 水道料金の計算

【基本料金】	8m ³ まで	1,474.00円	
【超過料金】	(20m ³ - 8m ³) × 220.00円	= 2,640.00円	
【合 計】	基本料金+超過料金	= 水道料金 → 小数点切り捨て	
	1,474.00円+2,640.00円	= 4,114.00円 →	4,114円

* 下水道使用料の計算

【基本料金】	8m ³ まで	1,166.00円	
【超過料金】	(20m ³ - 8m ³) × 198.00円	= 2,376.00円	
【合 計】	基本料金+超過料金	= 下水道使用料 → 小数点切り捨て	
	1,166.00円+2,376.00円	= 3,542.00円 →	3,542円

※最終的に計算された料金に、端数が出た場合は小数点以下を切り捨てます。

水道料金・下水道使用料早見表 【消費税込10%】

水量	水道料金	下水道使用料	合 計
～8m ³	1,474 円	1,166 円	2,640 円
9 m ³	1,694 円	1,364 円	3,058 円
10 m ³	1,914 円	1,562 円	3,476 円
11 m ³	2,134 円	1,760 円	3,894 円
12 m ³	2,354 円	1,958 円	4,312 円
13 m ³	2,574 円	2,156 円	4,730 円
14 m ³	2,794 円	2,354 円	5,148 円
15 m ³	3,014 円	2,552 円	5,566 円
16 m ³	3,234 円	2,750 円	5,984 円
17 m ³	3,454 円	2,948 円	6,402 円
18 m ³	3,674 円	3,146 円	6,820 円
19 m ³	3,894 円	3,344 円	7,238 円
20 m ³	4,114 円	3,542 円	7,656 円

◆上下水道施設の危機管理

【停電対策】 *非常用発電機設置状況

■上水道	設置	連続・燃費	種別	容量ℓ	出 力	備 考
中五区水源	常設	24H・40ℓ/h	軽油	950	375KVA	
下五区水源	常設	24H・20ℓ/h	軽油	490	180KVA	
中区配水池	常設	24H・20ℓ/h	軽油	190	20KVA	
低区配水池	常設	24H・20ℓ/h	軽油	75		
高区配水池	なし					不要
高区ポンプ場	常設	24H・20ℓ/h	軽油	490	75KVA	
下御料ポンプ場	なし					45KVA
御料4線ポンプ場	なし					25KVA
■簡易水道						
学田地区	常設	24H・20ℓ/h	軽油	490	35KVA	
山部地区	常設	24H・20ℓ/h	軽油	490	100KVA	
布部地区	常設	24H・20ℓ/h	軽油	450	50KVA	
富丘地区	なし					塩素ポンプ
東山地区	常設	24H・20ℓ/h	軽油	190	20KVA	
島の下地区	常設	24H・20ℓ/h	軽油	490	50KVA	
島の下取水	常設	24H・20ℓ/h	軽油	190	30KVA	
■下水道						
富良野処理場	常設	24H・93.5ℓ/h	灯油	1,900	200KVA	小出 390ℓアリ
山部処理場	常設	24H・15.2ℓ/h	軽油	390	55KVA	
住吉ポンプ所	なし					25KVA
花園ポンプ所	なし					25KVA
北斗ポンプ所	なし					13KVA
北の峰ポンプ所	なし					25KVA
学田ポンプ所	なし					25KVA
朝日町ポンプ所	なし					25KVA
山部ポンプ所	なし					13KVA
富良野放流口	常設	ポンプは水源車庫	軽油	750	100KVA	8インチ 3台
■無頭川						
富良野川樋門	なし	発電機と ポンプは 水源車庫	軽油	70	25KVA	8インチ 1台
			軽油	70	25KVA	8インチ 1台
			軽油	70	25KVA	8インチ 1台
★給水袋	6ℓ：3,045枚 10ℓ：490枚 (+道北地区預分 6ℓ：1,000枚)					
★給水ポリ缶	18ℓ：463個					
★給水タンク	2t：2個 1t：1個					

*緊急貸出 18ℓポリ : 200 給水袋 6ℓ : 1000 10ℓ : 490 給水タンク 2t : 1

カラーマンホールを設置します！

日常生活で意識されずに使用されている下水道の存在を知り、興味や関心につなげ、事業への理解と協力をお願いを目的とするとともに、新たな市内回遊スポットへの期待を込め、カラーマンホールを設置します。

◆設置日時等：令和元年7月1日 午前9時頃 下記図面箇所

カラーマンホールを素材に「マンホールカード」が全国407自治体で478種類発行されています。

本市では現在発行していませんが、発行に向け準備を進めています。発行は登録制となっており、団体登録→抽選→製作→公表の手順で進められるため時間がかかります。「マンホールカード」についてお問合せがありましたら、上下水道課までご連絡下さい。（電話39-2317）



カラーマンホールを設置しました！



◆日常生活であまり意識されずに使用されている下水道ですが、足元には多くのマンホール蓋が設置されています。

マンホール蓋は、富良野市をイメージする図柄を採用し、これまで4種類の蓋を設置しています。

◆令和の時代を迎え、新しい図柄のカラーマンホール蓋を製作し設置しましたのでお知らせいたします。

◆この機会に、下水道事業にも興味や関心を持っていただき、持続可能な下水道事業となるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

《現在設置されているマンホール蓋》



へそ丸くん



スキーと十勝岳



ワイン



3種統合

《みんなで守ろう！下水道》

・油は絶対に下水道に流さない！ ※油は下水道管の大敵。固まって詰まります。

・生活排水、し尿やトイレパ―パ―以外は流さない！ ※異物を流さないで下さい。

※油や異物は下水道管を詰まらせ、水処理場の機械故障の原因となり、修繕に多額の費用が発生します。原因者を特定し、管洗浄等の応分負担を求めることもありますので、ご注意下さい。

※マンホールカード（現在、発行していません。）

マンホールカードの発行は、カード管理団体への「登録申請」→「抽選」→「製作」→「発行」の手順で行われます。現在、発行に向けて準備を進めていますので、発行までしばらくお待ちください。

※デザインの由来

自然豊かな北海道を緑で表し、その中心の「×」印を「へそ」に見立て、北海道の中心で「北海へそ祭り」公式キャラクター「へそ丸くん」が踊っています。背景には、日本二百名山の芦別岳と東大樹木園の桜並木を表現しています。